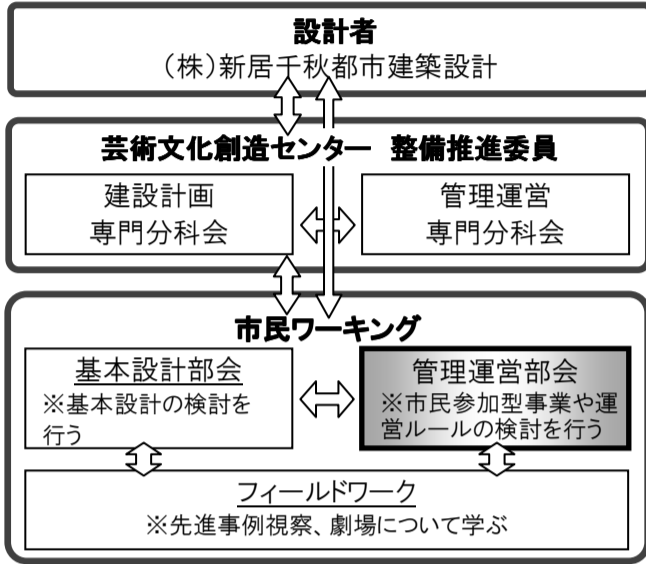


## 第1回 管理運営部会

7月20日(土)、生涯学習センターけやき 第2会議室にて、「芸術文化創造センター管理運営部会 第1回市民ワーキング」が行われました。市民ワーキングメンバー19名、(女性4名、男性15名)、市の事務局スタッフ10名、設計者である新居千秋都市建築設計から2名、その他の事務局スタッフ3名、専門委員会から三ツ山委員、井上委員の、合計36名が参加しました。平成23年度の市民ホール基本計画市民検討委員会、平成24年度の市民ホール管理運営計画市民委員会に引続き、平成25年度も市民の皆さんと共に検討をおこなってまいります。今回は、市民ワーキング「第1回管理運営部会」の当日の様子や、皆さまから示されたご意見をご紹介します。

### 市民ワーキング 管理運営部会について



今年度は、昨年度までよりも詳細で具体的な検討をおこなうため、市民ワーキングの中で「基本設計部会」と「管理運営部会」に分かれ、複数回にわたりワーキングを開催します。「管理運営部会」では、前半4回を「事業と市民参加」、後半4回を「管理運営ルール」について市民ワーキングで議論します。

市民ワーキングで出た意見は、専門家で構成される「芸術文化創造センター整備推進委員会」を通じて「管理運営実施計画」に反映されます。

また、2つの部会に加え、文化セミナーやフィールドワークを行い、多角的な検討を行います。

### 芸術文化創造センターについて

小田原市では現在、平成28年度の芸術文化創造センター完成に向けて整備を進めており、これまでに、平成22年度に基本構想の策定、23年度に基本計画の策定、24年度に管理運営基本計画の策定と設計者の選定を行いました。

平成24年度には「芸術文化活動を通じて、地域と市民が核となってつくり出していく、小田原の創造的な活動の源泉とも言える、芸術文化創造の拠点」として、名称を「市民ホール」から「芸術文化創造センター」へと改めるとともに「小田原市芸術文化創造センター基本設計業務プロポーザル」を行い、46者の応募者の中から(株)新居千秋都市建築設計が設計者として選出されました。

平成25年度には、「基本設計」と「管理運営実施計画」の策定を行い、「市民にとって使いやすい施設」をハードとソフトの両面から検討していきます。

これらの検討に先駆け、5月17日と26日の2日にわたり、「基本設計業務デザインプロポーザル最優秀案」について市民説明会が開催され、延べ132名の方が参加されました。

### 第1回管理運営部会概要【事業と市民参加】

#### ～美術・アート系の事業について～

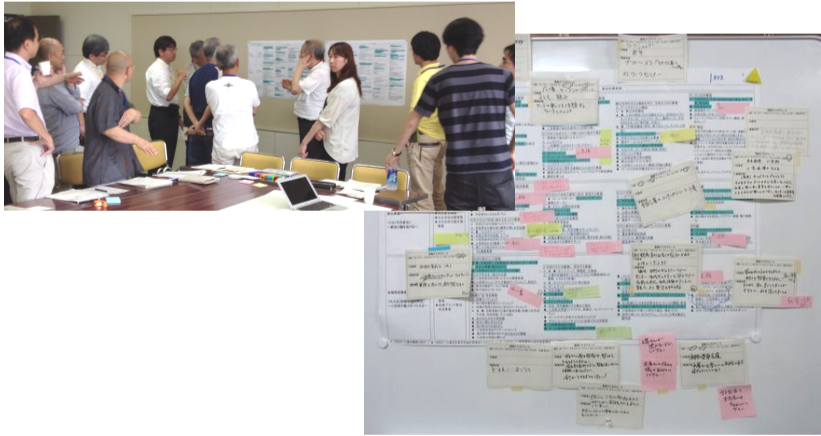
- まず、美術・アート系の事業と教育普及の重要性を三ツ山委員にお話いただきました。
- 2班に分かれ、基本計画で定められた7つの基本方針(【育成事業】【鑑賞事業】【参加事業】【地域発信事業】【交流事業】【にぎわい創出事業】【施設提供事業】)のそれぞれで、美術・アート系のどんな事業が考えられるかを検討しました。
- 昨年度までの市民検討で挙げられた意見や、他施設の事業も踏まえて、挙げられた意見の中から「特に重点的に取り組んでいく事業」を考えました。また、具体的な事業案があるかたは「事業アイデアシート」に「場所」「対象者」「内容」を記入しました。
- 最後に各班の議論内容の発表を行い、全員で議論の共有を行いました。

### ～美術・アートと教育普及～ 横浜市民ギャラリーあざみ野の事業について

三ツ山委員が館長を務める「横浜市民ギャラリーあざみ野」の事業について紹介がありました。

展覧会	◆年間4本、シリーズの展覧会を開催する 「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+企画展」「あざみ野コンテンポラリー」「あざみ野こどもぎやらい」「横浜 wo 発掘 suru 展」
子どものためのプログラム	◆未就学児から小学生・親子を対象とした造形活動の場 「子どものためのプログラム」「親子で造形ピクニック」「親子のフリーゾーン」
市民のためのプログラム	◆15歳以上の市民を対象に、美術・工芸の講座やレクチャーなど、様々なプログラムを実施
市民参加	◆市民が参加できる様々なプログラムを実施 「あざみ野カレッジ」「フェローアートギャラリー」「アート café」「ショーケースギャラリー」「まち中アートプロジェクト」「あざみ野アートサポーター」
コンサート	◆講演会やコンサートなどの公演を実施 「あざみ野サロン」「ロビーコンサート」
横浜市所蔵カメラ写真コレクション	◆横浜市のカメラコレクションの管理と、展覧会などの事業の実施

### 1班



#### ～主な発表内容～

キッズアートプロジェクト・小児病棟の子や、普段関わっていない人に積極的に関わっていく/小田原井などの「食」も文化のひとつ/夜にイベントができる施設となる/キュレーターの登用/若い人が頑張っていることを見せる/公民館との連携プログラム/まちづくりを含めて、自治会と連携して取り組んでいく/デジタルアーカイブ/大・中スタジオでできる案が沢山あるので、整理することが必要

#### 三ツ山委員からのコメント

- プロを志さない人が、アートに親しんでいく場所、やわらかくなれる場所や人が必要とされています。
- 「子ども、障がい者、お年寄り」の視点を抑えてみましょう。
- 組織は今後の検討ですが、「ゆるやかな運営」が市民の活気に繋がっていきます。

#### 井上委員からのコメント

- 市内にたくさん展示する場所があります。それらで行っていることを集約させると、色々なことができると思います。

### 2班



#### ～主な発表内容～

若い世代に活躍してもらうための事業を実施/大・中スタジオと、ギャラリーで出来ることを区分する。ギャラリーはアートを展示できる機能を持たせることが重要/外から見えるギャラリー、外から興味を持たせる⇔遮蔽や遮音等、基本的性能の確保/人的ネットワークを構築し、若い人に感心をもってもらう。/小田原のアーティストを登録する仕組みづくり/民間で行っていることと連携していく

#### 三ツ山委員からのコメント

- 「センター」は情報の集約、発信、記録などを行う場です。
- 催しの規模の大小ではなく、「楽しいことをやる」ことが重要。集客できない＝失敗ではありません。
- 「やりたい」と「必要」を区別して考えることが大事です。

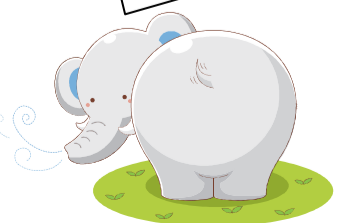
#### 井上委員からのコメント

- 厚木市文化会館では、ギャラリーを色々な用途で利用していました。限られた場所で工夫することが大切になってきます。
- 用途を限定しすぎずに、色々なことができる場所となるといいですね。

#### 設計者 新居氏からのコメント

- 限られたスペースの中に、多くの部屋が必要となってきます。使い方を限定するのではなく、フレキシブルに利用することを考えると、できることが増えてきます。
- これからも、皆さんの色々なご意見を聞かせていただきたいと思います。

次回は舞台系事業の検討です♪



# 皆さまのご意見（ワークシートのふせん内容）を全て掲載します

※ご意見は基本的にワークシートのとおり掲載していますが、適宜誤字・脱字の修正を行っています。  
 ※(※)は、当日のワーキング内容をふまえ、事務局が補足を記入しています。  
 ※読み取れない文字に関しては「●●」で表記しています。

## 1 班

事業	場所	対象者	事業内容		
育成事業	ホール広場	子どもから一般まで	多古の祭はやし、北条太鼓、蘇我の舞、寺山の鹿島踊、山王神社の木杵、相模人形芝居等の郷土芸能を鑑賞する(各所から出場してもらう)		
	ギャラリー、スタジオ、ワークショップ		(仮称)アンデバンダン展 多様化された芸術、インスタレーション、パフォーマンス、映像作品を全て受け入れることのできるホール(ギャラリー)。そして、これは、小田原を代表できるイベントとして、市外の人も呼べるイベントにしたい。		
	広場、ワークショップ	子ども、親子	アートを楽しむを体験するワークショップ		
	ワークショップ	若年	プロによる「その仕事につく為」のワークセミナー		
	ギャラリー、スタジオ、広場、町など		全国公募のコンテンポラリーアート展		
			具体的事業を選別するのではなく、それぞれを成立させて、能率的に目的を達成できる、統合的な骨格を具体的に企画していくのがこのまじい。		
			(参考)キッズアートプロジェクト 子どもたちにアートの力で元気になってもらう、社会に役に立つ事業を行うことで、一部の人が楽しんでいる。センターの必要性を理解してもらう。		
			◎子どもたちが本物を鑑賞できる事業 ◎子どもへの音楽・演技・美術などの体験・指導 学校における芸術系科目のホールでの実施 親子で楽しめる事業 シンポジウム 一流講師によるセミナーやレクチャー ギャラリートーク 市民の中からプロを育てる事業 小田原在住・出身の新進美術家の育成(制作、発表、助成金)		
	参加事業	広場、町など	次世代育成をこめて	小田原ならではの(地域資源を活かした、再生可能なもの)のアート・フェスティバル	
		(例)銀座通りには多くのギャラリーがある	子どもから大人まで	毎月、月例のギャラリーツアー。センター、市民ギャラリーを巡るツアー。多彩な文化・市民活動やアートに触れ、より身近なものとする	
			作家とコンテンポラリーART 市民の触れあう事業 各世代様々な分野のアートに触れる機会 地元、地域の身近なアーティストの協力で体験機会の増大 ギャラリーツアー、センター、市内ギャラリーと連携して展示会の紹介		
			企業対抗アートフェスティバル バックステージツアー 小田原ゆかりの事業 杉本博司		
地域発信事業		ギャラリー、スタジオ	神奈川県華道展	水屋を必要としての神奈川県最大イベントである。 文化資料 ◎現物 図書、デジタルカタログ	
				戦争体験談アーカイブ映像 ◎ホームページ、情報誌、広報紙 ◎文化資料室 ホール美術展の地域公民館への巡回 小田原の特産を活かした地域ブランド発信・育成事業(※全体的に)	
		交流事業	ギャラリー、スタジオ	若者	アート作品とコンテンポラリーダンスのコラボ
			どこでも	若者	アートコンプレックス、アートと多分野のコラボダンス、音楽、映像など
			ホール外壁(白い方がよい)、お城(二の丸、本丸)		映像マッピング
			ギャラリー、スタジオ	アートファン	世界的アーティストのコンテンポラリー作品展示
	鑑賞事業		ギャラリー、スタジオ、ロビー、広場、町など		夜、暗くなってからのしめるイベント。アートフェスなど。
			ワークショップ	アーティスト、アートファン	アーティストが制作する場を公開して作品ができるプロセスを見る。
			ギャラリー、スタジオ、ワークショップ		食の「文化」を楽しめる空間、イベント。(小田原産の食材、メニューなど)
			ロビー、広場、町など		美術作品などの鑑賞機会の提供
				映画(映画祭、16mm、バリアフリー、ロードショーに掛からない良品) バリアフリー 全国規模の展覧会(写真、公募展、現代アート、アンデバンダン展など) ガンブラジオラマ風、ガンダムでの興し 小田原鉄道文化祭 シネマトークの展開(屋外で可能か?) 理想的自由展示空間。3次元空間の好きな位置に物体を固定できるスペース	
にぎわい創出事業			ギャラリー、スタジオ、ワークショップ		まちなかミュージセ(仮称)Art Now ホールを中心に小田原の有形文化財の松永記念館、小田原文学館(清閑亭)、街中等を含めてのイベントである。場所により、展示、場所によりパフォーマンス…。大勢の方が楽しめる、文化観光のイメージをもったイベントである。
		外		植木を作ったコンテスト、シザーハンズのような	
		ロビー、広場	来た人	お茶、おいしいお酒ののめる場所	
		広場	若者	アート楽市のような若手アーティストの小物市	
				◎これはmust 小田原の条例によって オープンロビーでのコンサートや展示 子どもの遊び場・溜まり場(大人も集まれる) 町全体でにぎわいを(町内会対抗コンサート+一流アーティスト、すべてのバンド集合、小田原おじさん(ロカビリーフォークetc)大集合、商工祭、ちょうちん祭の復活) 酒博(梅酒)	
	施設提供事業	ギャラリー		どろだらけにしてもいいような設備を どろんこ、よごして 展示室でも、演劇、映画鑑賞ができるような、簡単な設備を。照明等。 床は木がいい。地域材を使って、小田原らしいものに。運営を考えれば、県立音楽堂のように木(地域材)を効果的に使うことで、30年、50年たっても古くならず、味わいが増すことによって、ここをぜひ使いたいという人たちが増える	
			多用途に使うために	ミュージアム・ショップ 和のイベントができるように。タタミを設営できるように。和の空間をつくる。とにかく、和、よごしてよいか、できること。水も流してよいか ギャラリー等の壁面ははりかえできるようにするとか。国立新美術館のように、壁面用のかべが増設してもらえるように。 釘が打てるようにしたい!	
		ロビー		大ホール、小ホール等のそれぞれのロビーが開放されるようにしてほしい。大ホール、小ホールを使用していないときの、そのロビーが…。 お客さんが迷わないようにして下さい。 お客さんの休みの場があるようにして下さい!	
		和室活用			

## 2 班

\*1 班、2 班ともに、色の付いた部分が「事業アイデアシート」に書かれた内容です。

事業	場所	対象者	事業内容
育成事業			ビクネームによる指導 子どものイベントを多く ちょうちんコンテスト
			◎子どもたちが本物を鑑賞できる事業 ●コンテスト(デザインフェスタ、POPS、新人音楽家)
参加事業			◎杉本博司
地域発信事業			小田原の技作品展 ◎小田原物産(小田原風鈴、ちょうちん、いもの、箱根細工 小田原彫り、小田原ブランドとしての芸術文化マーケット) ◎新しい時代の小田原らしさ創造、小田原ブランド展
			◎芸術家との人的なネットワークづくり ◎芸術大学などの連携 ◎小田原の文化活動の全てを集約した情報発信基地(情報センター、アーカイブ、ライブラリー機能)
鑑賞事業			小田原文化のアート・ゲート 松永程度の設備 ・子ども向け・上質なもの 事業のバランス ◎全国規模の展覧会(写真、公募展、現代アート、アンデバンダン展など) ◎ガンブラジオラマ風、ガンダムでの興し
	にぎわい創出事業		子ども:学校ではやらないこと(制限される)ができる→また来たいになる
		小学生	ジャンボアート
		親子~高校生、大学生	ドミノ倒し
		小学生	箱根細工によるアート 外部にシンボリック作品
			◎オープンロビーでのコンサートや展示 ◎子どもの遊び場・溜まり場(高校生) ◎外から見えるギャラリー(遮光も必要)
施設提供事業			動員力のある事業 ギャラリーはアート重心で ◎稼働率を高く
	その他		ギャラリーをアトリエとして使用・市民ミュージカル、高校演劇フェス等 現代アート中心 華道・茶道などもギャラリーの対象(対象ジャンルは広く) かべや床を使えるようにする 多機能を追求すると本来の目的がうすれる 静粛性を絶対に確保する。 芸文センターに美術学芸員を置く

## 今後のワーキング予定 ~管理運営実施計画策定までの流れ~

日時	概要
第1回*終了 7月20日	【管理運営】事業と市民参加1 ~自主事業について~ *主に美術・アート系の事業について
第2回 8月17日	【管理運営】事業と市民参加2 ~自主事業について~ *主に舞台系の事業について
8月26日	フィールドワーク *あつぎ舞台アカデミー 稽古見学
9月10日	第2回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング1, 2のまとめ
9月14日	フィールドワーク *劇場ってどんなところ?~劇場・ホールの成り立ち~
第3回 9月14日	【管理運営】事業と市民参加3 ~市民参加創作事業について~ *小田原市でどのような市民参加事業が求められているか
第4回 10月19日	【管理運営】事業と市民参加4 ~運営への市民参加について~ *運営や市民参加事業に、市民中間支援団体がどのように関わるか
10月22日	第3回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング3, 4のまとめ
第5回 11月9日	【管理運営】管理運営ルール1 ~施設の管理運営ルール~ *予約方法や優先利用、減免の考え方について
第6回 11月23日	【管理運営】管理運営ルール2・3 ~諸室の管理運営ルール~ *第2回設計案をうけ、管理運営ルールを考える。
第7回 12月14日	*ホール、ギャラリー、スタジオなどの施設ごとに管理運営ルールを考える。
12月(未定)	第4回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング5, 6, 7のまとめ
第8回 1月18日	【管理運営】管理運営計画のまとめ *管理運営実施計画策定にむけて、これまでのまとめ。
2月(未定)	○基本設計(最終案)発表 ○市民説明会
3月(未定)	○基本設計決定 ○管理運営実施計画策定 ○シンポジウムの開催(予定)

市民ワーキングの意見をもとに専門委員会  
が検討し、管理運営実施計画を策定します。